

師弟同行

師弟同行とは、教師が子どもに寄り添い、共に歩むことです。私が重視する主な理由は、次の二つです。

一つは、子どものよさを引き出し、伸ばすためです。

もう一つは、教師が子どもから学んだことを、教育指導の充実に生かすためです。

全ての教育活動の評価は、子どもを介して行われます。教師は、子どもの学ぶ姿や変容から指導改善のヒントを得るのです。

学習指導要領の趣旨の実現に向け、子どもが「主体的に学習に取り組む態度」を的確に評価することが求められています。子どもが学ぶ過程で試行錯誤し、自分の学びを調整しようとしている姿を見逃さず、肯定的な評価を下すとともに的確な助言を行うことが重要です。



準備の大切さ

福聚山 慈眼寺住職 大峯千日回峰行大行満大阿闍梨 塩沼 亮潤

何かに挑戦する時は、しっかりと準備をすること。100パーセントの準備をしたとしても、何割かの想定外は必ずあるものです。だからこそ、120パーセントの準備をしておくことです。準備が足りない場合には、どこか弱気になったり緊張したりして、本番を楽しむことはできません。たとえ、それが取り越し苦労になったとしても、準備にかけた時間や労力は決して無駄にはならず、自信につながるのです。

出典：「寄りそう心」 塩沼亮潤著（プレスアート）

※ 入念な準備を行えるよう、先を見通して段取りを行うことが欠かせません。